

カンボジアの小学校再建へ

AMDA

高校生会が募金活動

今年中の完成を目指す

カンボジアの老朽化した小学校の再建を援助しようと、岡山市などの高校生20人で行くAMD A高校生会が、資金集めのための募金活動を進めている。屋根が崩れ落ちかかっていたり、トイレや水道などもない状態といい、リーダーで県立倉敷天城高校2年、高尾明子さん(17)は「カンボジアの子供に学ぶことの楽しさを知ってもらおう手助けになれば」と協力を呼びかけている。

【補沼 秀行】

目標150万円にあと一歩

再建を支援しているのは、首都プノンペンから約90キロ離れたコンボンスプー州の「チャンバック小学校」。1992年に建てられた木造平屋だが、最近床が抜けるなど老朽化が目立っている。いすや机のほか、教室自体も不足しており、敷地内の木の下での授業を受けている児童もいるという。

机やいすがない教室で授業を受けるカンボジア・チャンバック小学校の児童たち (AMDA提供)

小学校の近くにAMD Aが建設したデイケアセンターを通じて、小学校の状況が伝えられ、高校生会が昨年4月、新規プロジェクト

84・7730)へ。

